

KOBE DARCC VILLAGE

DARCC
一般社団法人 神戸ダルクヴィレッジ

依存症 セミナー in 和歌山

3/29 (日)



万引き
アルコール
買い物
薬物
性行為
インターネット
ギャングブル

3 3歳未満に
被害と関係あり
10 人口の平均値
多くなり

「女性の依存症からの回復支援 地域でのつながり」

- 12:30~受付開始
- 13:00 初めの挨拶
- 13:10~13:45 依存症に対する理解と神戸ダルクの展望
神戸ダルク代表 梅田靖規
- 13:45~14:45 「あなたの声を届ける」支援者向け報告会
- 15:00~16:15 女性の依存症者の支援と和歌山ダルクの活動
和歌山ダルク 施設長 池谷 大輔
- 16:15~終了 質疑応答 (Q&A)

基調講演
女性依存症回復施設
和歌山ダルク
施設長 池谷 大輔
プロフィールは裏面

日時 3/29 (日) 13:00~16:30
場所 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛 9階
和歌山県男女共同参画センターりいぶる

参加費 500円 (資料代として)

当事者の方は参加無料

アクセス 和歌山市手平 2-1-2
詳しくは裏面をご覧ください



一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

〒651-0068 神戸市中央区旗塚通 1-1-20 長坂ハイツ2F
TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741 9:30~17:30
ウェブサイト www.kobedarc.org/ メール kobe.darc@gmail.com



このセミナーは全日本社会貢献団体機構の助成により実施されます

薬物・アルコール・ギャンブル・買い物・インターネット・ゲーム・性行為・万引き・異性・DV等、様々な依存物質や依存行動を繰り返すことで「やめたくても自分でやめられない」状態に陥り、自分を傷つけ、周囲を巻き込むなど社会活動が困難になります。依存症は病気であり治療が必要ですが、その前に助けを求め相談することが最も重要です。が、簡単に相談することが今の社会ではできません。問題を相談することで、社会的立場を失ってしまうからです。もっと早く助けを求めれば助かっていく命や人生。そのために正しい理解を多くの人に持っていただけるように、今回は女性の依存症回復施設「和歌山ダルク」と協力して、依存症セミナーを開催します。適切なケアとサポート、そして回復支援に最も必要なのは、地域社会の理解と思いやりなのです。

電車の場合

- 大阪・天王寺駅からJR阪和線で和歌山駅へ約55分
- 大阪・なんば駅から南海本線で和歌山市駅へ約55分
- 新大阪駅からJR特急で和歌山駅へ約60分
(JR和歌山駅から徒歩約15分)
- 和歌山電鐵貴志川線をご利用の場合
(田中口駅から徒歩約11分)

お車の場合

- 大阪方面から阪和自動車道で約60分
- 阪和自動車道・和歌山ICから約15分
- JR和歌山駅からタクシー利用で約5分
- 南海和歌山市駅からタクシー利用で約20分



「あなたの声を届ける」支援者向け報告会とは

支援者の間で、「依存症者＝体験談」という構図がどこかで出来上がってしまいませんか？確かに依存症当事者の体験談は、心に響くものがあり、多くの人に聞いていただいてもほしいものですが、大きなリスクがあることを、ちょっと立ち止まって考えるために、当事者への勉強会で行ってきたことの報告会を開催します。一般の人の前で自分の体験談を話すとき、知らず知らずの間に再トラウマ化・再発・傷つき体験をすることが多くあります。メッセージ後の再発を守るために一冊のガイドブックを作成しました。

講師プロフィール

池谷 大輔 (いけたに だいすけ)

2011年奈良県にある依存症回復施設に入寮。

2012年同施設でスタッフ研修を経て社会復帰後に横浜にある一般社団法人セレニティプログラムにてリカバリーダイナミクスプロバイダーを取得。同法人より沖縄ダルクに派遣され、プログラム終了後に沖縄ダルクスタッフとして勤務。

2017年に和歌山ダルク勤務

2018年和歌山ダルク理事就任。

2019年和歌山ダルク代表理事就任。

2019年より指定自立訓練(生活訓練)事業所 Healing Place を運営



梅田 靖規 (うめだ やすのり)

平成19年、薬物依存症にて、茨城ダルクにてリハビリ開始。同年ダルク職員として活動開始。職員をしながら、大検に合格し、通信大学で心理学を専攻。平成23年より、京都・木津川ダルクでの非常勤を経て、アリゾナ州治療共同体アミティ及びデイトップにて、3ヶ月のトレーニングを経験。平成26年より、「アジア太平洋地域アディクション研究所」にて、研究員及び「フィリピンプロジェクトチーフ」として、フィリピンメトロマニラを中心とした貧困層依存症支援での政府との連携調整及び、フィリピン全土のピアネットワーク構築に従事。帰国後神戸にて活動を開始し、平成28年7月「神戸ダルク ヴィレッジ」の開設に至る。精神保健福祉士 双子の二児の父

